扶助者聖母の祝日　九日間の徳の花（５日目）

おはようございます。

皆さんは「人生」という言葉をどう解釈しますか？「人が生きる道」や「人として生きること」などが考えられますね。この質問は、私がいつも宗教の時間にやっていたスピーチの時、ある生徒がクラスのみんなにしたものです。「人生」とは何でしょうか？その生徒はこんな体験をしたそうです。そのころ悪いことばかりが続いて苦しんでいたけれど、それを周りには知られないように明るく振舞っていたのですが、ある日、廊下を通っていたとき、ある友達が「最近どうなの？何かあった？」と声をかけてくれたそうです。それを聞いたとき、「どうしてこの友達は自分が苦しんでいることがわかったのだろう」と思うと、涙が止まらなくなったそうです。そして、人の気持ちを分かり、共に苦しんでくれる人がいるということに勇気をもらったのだそうです。その生徒は、「『人生』ってもしかしたら『人と共に生きること』なのかもしれない。自分もこれからは人の気持ちに寄り添って生きる人生を送りたい」と言っていました。

今日の徳の花は「慰めたい　悩んでいる友だちの心をホッとさせてあげたい。そっと傍らにいてあげたい。マリア様、私の背中を押してください。」です。マリア様は、いつも私たちと共にいてくださり、苦しみを共にし、助けてくださいます。私たちもマリア様のように、また、この生徒のように、人と共に生きる人生を送りたいものです。